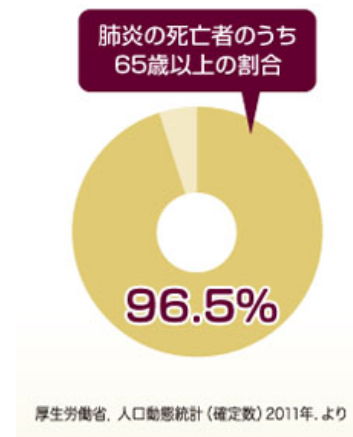
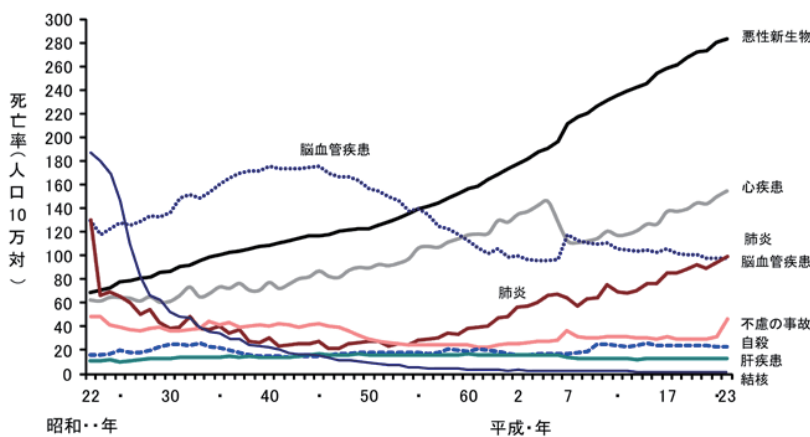


ハピネス いずみ

平成 26 年 秋号

今から冬の肺炎に備えましょう !!

皆様ご存知ですか？ 2011 年、肺炎が脳卒中（脳血管疾患）に代わって日本人の死因の第 3 位となりました（厚生労働省統計）。1 年で 12 万 5 千人の日本人が肺炎で命を落とした計算になります。肺炎で死亡する患者様のほとんど（96.5%）が 65 歳以上の高齢者でした。また肺炎は高齢者の寝たきりの原因ともなります。超高齢者社会を迎えた日本にとって、肺炎の治療は非常に重要となっています。



特に冬場、高齢者や持病のある患者様が風邪やインフルエンザなどを契機に肺炎を引き起こす例を良く拝見します。肺炎は早期の診断・治療も大切ですが、肺炎を起こさない工夫や予防も非常に大切といわれています。肺炎の予防には風邪やインフルエンザと同じく、外出時のマスクの着用、帰宅後のうがいや手洗いなどが有効とされています。また規則正しい生活を心がけ、禁煙や持病の治療に努めることも大切です。





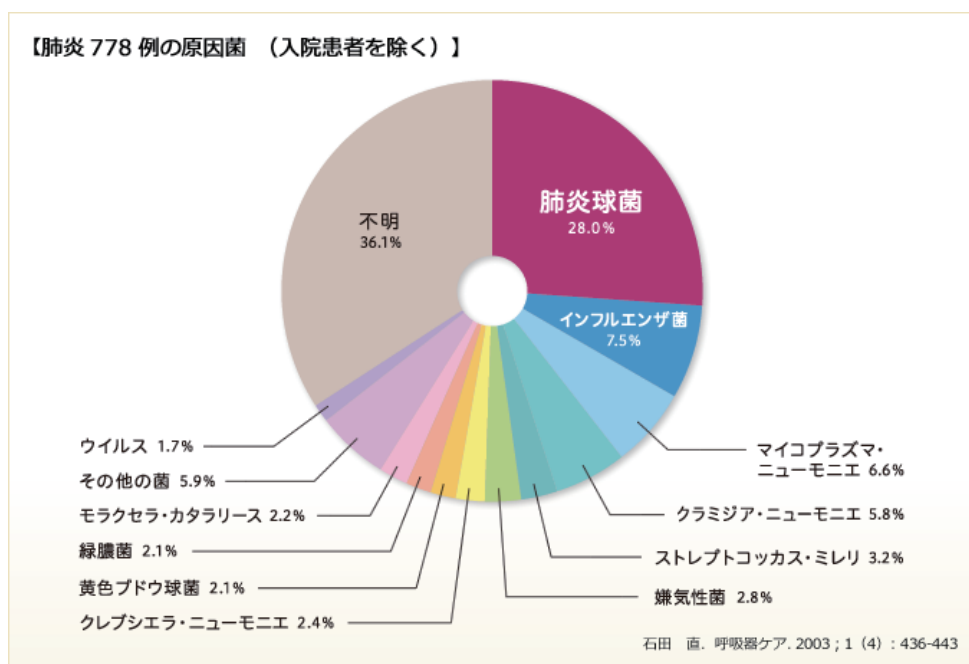
肺炎球菌ワクチンや、インフルエンザワクチンを接種する

最近、肺炎の原因となる肺炎球菌に対するワクチンが開発され、肺炎予防の有効性が示されています。肺炎球菌ワクチンは、肺炎のすべてを予防するワクチンではありませんが、接種することにより重症化防止などの効果が期待されます。

肺炎球菌ワクチンとは

高齢者の肺炎の原因の中で、最も頻度の高い細菌です。肺炎球菌ワクチン接種により肺炎球菌による肺炎の8割に効果があるといわれています。効果は5年以上にわたって持続するといわれ毎年接種する必要はありません。

肺炎球菌ワクチンは、肺炎のすべてを予防するワクチンではありませんが、肺炎にかかっても軽い症状ですむ効果があります。



特に高齢者（65歳以上）や心臓、呼吸器の慢性疾患、腎不全、肝機能障害、糖尿病等の基礎疾患のある患者様は、肺炎球菌に感染すると重症化する危険性が高いため、ワクチン接種が望ましいとされています。

和泉市ではワクチン接種に際して一部助成金制度があります。制度やワクチン接種についての注意事項など詳細については診療所でご相談ください。

気候の良いこの時期に、冬に備えてワクチンの接種をお勧めいたします。